

# 平成21年3月期 決算短信

平成21年5月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ロブテックス

コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 管理本部長 (氏名) 豊島 尚規 TEL 072-980-1110

定時株主総会開催予定日 平成21年6月18日 有価証券報告書提出予定日 平成21年6月19日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 21年3月期の連結業績(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期	5,291	△18.5	△234	—	△344	—	△334	—
20年3月期	6,492	5.3	173	△46.9	94	△53.7	△114	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
21年3月期	△35.31	—	△17.9	△4.9	△4.4
20年3月期	△11.72	—	△5.1	1.3	2.7

(参考) 持分法投資損益 21年3月期 —百万円 20年3月期 —百万円

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期	7,125	1,682	23.0	174.26
20年3月期	7,041	2,120	29.7	220.09

(参考) 自己資本 21年3月期 1,641百万円 20年3月期 2,092百万円

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
21年3月期	159	239	△11	1,007
20年3月期	△11	△194	△248	619

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					配当金総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
20年3月期	—	—	—	10.00	10.00	95	—	—
21年3月期	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—		—	

(注) 当社は定款において期末日を基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。(業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」の欄をご覧ください。)

## 3. 22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	2,310	△24.7	79	—	28	—	5	—	0.53
通期	4,830	△8.7	245	—	140	—	85	—	9.02

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は17ページ「(7) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期 10,000,000株 20年3月期 10,000,000株

② 期末自己株式数 21年3月期 580,439株 20年3月期 491,499株

(注) 1株当たり当期純利益(連結)の算定の基礎となる株式数については、24ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

#### (参考)個別業績の概要

1. 21年3月期の個別業績(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期	3,973	△23.5	△394	—	△425	—	△372	—
20年3月期	5,196	4.8	27	△87.7	△28	—	△75	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期	△39.41	—
20年3月期	△7.78	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
21年3月期	6,412		1,589		24.8	168.80		
20年3月期	6,725		2,079		30.9	218.72		

(参考) 自己資本 21年3月期 1,589百万円 20年3月期 2,079百万円

2. 22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	1,715	△27.7	0	—	0	—	18	—	1.91
通期	3,544	△10.8	45	—	45	—	54	—	5.73

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき判断したものであります。実施の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ「1.経営成績 (1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

2. 平成22年3月期の期末配当予想については、今後の業績が不透明であるため現時点では未定としております。年度業績等を勘案した上で配当予想額の開示が可能になった時点で速やかに開示を行うものいたします。

## 1. 経営成績

### (1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度のわが国経済は、米国に端を発した世界的な金融市場混乱による株価や為替相場の急激な変動影響を受け、企業収益が悪化し、設備投資の減少や雇用情勢の悪化、個人消費の減退がみられ、さらに当第3四半期以降におきましては、国内外とも急速に景気悪化傾向が強まりました。

このような状況の下、当社グループは創業120年を機に更なる企業の発展・継続のため経営幹部の世代交代を図ってまいりますと共に、一方で内部統制強化にも取り組み、グループ全体における経営品質の向上に取り組んでまいりました。しかしながら、経営環境は厳しい情勢となり、売上高は52億9千1百万円（前年同期64億9千2百万円）となりました。利益面では、2億3千4百万円の営業損失（前年同期は1億7千3百万円の営業利益）、3億4千4百万円の経常損失（同9千4百万円の経常利益）となり、特別損益では旧物流センター土地売却益ならびに120周年記念事業費用等が発生し、3億3千4百万円の当期純損失（同1億1千4百万円の純損失）となりました。

事業の種類別セグメント業績は次のとおりです。

#### <金属製品事業>

売上につきましては、国内・海外共に拡販に注力いたしましたが、急速な景気悪化の影響を受け、各品種において減少し、売上高は50億1千9百万円（前年同期62億3千2百万円）となりました。利益面では、大幅な売上の減少に加え、棚卸資産の評価をより厳正に行ったことによる損失や売上先に対する貸倒損失の発生、過年度に退職給付信託に抛出いたしました有価証券の時価下落並びに退職給付債務算定における割引率変更等による退職給付費用の増加により、3億8千万円の営業損失（同3千5百万円の営業利益）となりました。

#### <レジャー事業（ゴルフ練習場）>

お客様へのサービス向上施策が奏効し、入場者数の増加が見られ、レジャー事業の売上高は2億7千2百万円（前年同期2億5千9百万円）となり、営業利益は1億4千6百万円（同1億3千7百万円）となりました。

今後の経済情勢は、政府の経済対策に期待は掛かりますものの、企業収益並びに個人消費の回復には相当の時間を要し、経営環境は厳しい状況が続くものと考えております。

このような見通しの中、当社グループは2009年度の経営スローガンとして「グループ全員一丸となり、飛躍に向けての足場を固め、新しいロブテックスを創る」を掲げ、グループ全員が同じ思いを持ち、何を成すべきかを考え、企業体質の更なる改善による基礎固めを行い、創業120年の歴史を超えた新生ロブテックスへと変革する初年度としてまいり所存であります。営業部門におきましては、マーケティングを更に徹底し、商品戦略の方向性を明確にいたしますと共に、特約店ポイント制度の有効利用に加え、エンドユーザーへの営業活動の深耕による売上確保並びに営業サポートの充実による営業活動の効率化を図ってまいります。生産・開発部門におきましては、多能工化・標準化・単純化によるスリムな生産体制での利益確保や高付加価値商品への取り組みによる生産技術力の強化を目指しますと共に、提案型商品及び次世代商品の開発を強化し、売上の伸長を図ってまいります。

次期の見通しといたしましては、連結売上高で48億3千万円、連結営業利益で2億4千5百万円、連結経常利益で1億4千万円、連結当期純利益で8千5百万円を見込んでおります。

## (2) 財政状態に関する分析

### ①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は前連結会計年度末に比べ8千3百万円増の71億2千5百万円となりました。

区分別の概要は次のとおりです。

#### <資産>

流動資産は現金及び預金や棚卸資産が増加しましたが、受取手形及び売掛金が減少し、前期末比3億9千万円減の36億3千6百万円となりました。固定資産は旧物流センターの売却による土地建物の減少はありましたが、リース資産が増加し、同4億7千7百万円増の34億8千1百万円となりました。

#### <負債>

流動負債はリース債務の増加はありましたが、買掛金等の減少により、前期末比3億9千5百万円減の36億円となりました。固定負債はリース債務や長期借入金の増加により、同9億1千7百万円増の18億4千2百万円となりました。

#### <純資産>

当期純損失の計上並びに配当金支出による利益剰余金の減少を主因に前期末に比し4億3千8百万円減少し、16億8千2百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度キャッシュ・フローの状況は、前連結会計年度末に比べ、資金が3億8千7百万円増加(前年同期4億5千4百万円減少)し、当連結会計年度末には10億7百万円となりました。

キャッシュ・フローの区分別の概要は次のとおりです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

税金等調整前当期純損失の計上や仕入債務の減少並びにたな卸資産の増加はありましたものの、売掛債権の減少や減価償却費の計上により、資金が1億5千9百万円増加(同1千1百万円減少)しました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

有形固定資産の取得はありましたが、旧物流センター土地売却による収入がありましたので、資金が2億3千9百万円増加(同1億9千4百万円減少)しました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

金融機関から資金調達を実施いたしましたが、リース債務の返済や配当金支出並びに自己株式の取得により、資金が1千1百万円減少(同2億4千8百万円減少)しました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
自己資本比率(%)	30.3	30.8	32.3	29.7	23.0
時価ベースの自己資本比率(%)	54.5	69.9	45.3	25.0	18.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	5.4	—	—	—	31.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	6.6	—	—	—	2.1

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社における利益配分は業績を基本として、収益に対応した株主還元政策として積極的に実施すべきものと考えております。また、内部留保金は財務体質の強化並びに将来の事業展開に役立てることとしております。

当期の配当につきましては、当期の業績を踏まえ、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただきます。

また、次期の年間配当金につきましては当社のおかれる経営環境の先行きが不透明なことから、現時点におきましては未定とさせていただきます。次期の配当についての見通しが立ち次第開示いたします。

2. 企業集団の状況

最近の有価証券報告書(平成20年6月20日提出)における「事業系統図(事業の内容)及び「関係会社の状況」から重要な変更がないため開示を省略しております。

3. 経営方針

平成20年3月期決算短信(平成20年5月14日開示)で開示した内容から重要な変更がないため開示を省略しております。

当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

URL <http://www.lobtex.co.jp/lobtex/ir/tanshin/index.html>

(大阪証券取引所ホームページ)

URL [http://www.ose.or.jp/listed//ind\\_ds.html](http://www.ose.or.jp/listed//ind_ds.html)

4. 【連結財務諸表】

(1) 【連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成20年3月31日)	当連結会計年度 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	719,798	1,107,716
受取手形及び売掛金	1,365,363	673,306
たな卸資産	1,652,890	—
商品及び製品	—	1,091,344
仕掛品	—	288,902
原材料及び貯蔵品	—	375,960
前払費用	152,449	—
繰延税金資産	109,920	62,805
その他	26,597	37,940
貸倒引当金	△80	△1,834
流動資産合計	4,026,938	3,636,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	※2 1,672,987	※2 1,542,808
機械装置及び運搬具	114,656	96,739
工具、器具及び備品	63,378	70,226
土地	※2 870,040	※2 741,388
リース資産	—	631,713
建設仮勘定	43,728	22,074
有形固定資産合計	※1 2,764,791	※1 3,104,950
無形固定資産		
リース資産	—	71,274
その他	15,420	34,133
無形固定資産合計	15,420	105,407
投資その他の資産		
投資有価証券	※4 81,292	※4 75,737
繰延税金資産	104,935	156,667
その他	52,548	75,225
貸倒引当金	△14,957	△36,118
投資その他の資産合計	223,818	271,512
固定資産合計	3,004,030	3,481,871
繰延資産		
社債発行費	10,655	7,139
繰延資産合計	10,655	7,139
資産合計	7,041,624	7,125,153

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成20年3月31日)	当連結会計年度 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	308,910	160,832
短期借入金	※2 3,229,111	※2 3,168,994
リース債務	—	132,943
未払法人税等	60,884	26,274
その他	397,461	111,374
流動負債合計	3,996,367	3,600,418
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	※2 69,790	※2 375,140
リース債務	—	570,032
退職給付引当金	16,039	60,858
役員退職慰労引当金	31,265	29,185
その他	7,782	7,182
固定負債合計	924,876	1,842,398
負債合計	4,921,243	5,442,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	759,803	330,502
自己株式	※5 △126,918	※5 △147,559
株主資本合計	2,083,930	1,633,989
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,823	7,434
評価・換算差額等合計	8,823	7,434
少数株主持分	27,626	40,912
純資産合計	2,120,380	1,682,335
負債純資産合計	7,041,624	7,125,153



(2)【連結損益計算書】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	当連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
売上高	6,492,469	5,291,786
売上原価	4,410,488	3,729,521
売上総利益	2,081,981	1,562,265
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	623,866	541,813
退職給付引当金繰入額	171,643	174,044
その他	1,113,158	1,080,423
販売費及び一般管理費合計	1,908,667	1,796,281
営業利益又は営業損失(△)	173,313	△234,015
営業外収益		
受取利息	1,476	1,565
受取配当金	2,516	2,060
仕入割引	16,225	14,141
受取家賃	—	5,708
その他	26,197	7,677
営業外収益合計	46,415	31,153
営業外費用		
支払利息	51,971	73,242
売上割引	55,824	52,287
その他	17,581	16,312
営業外費用合計	125,377	141,842
経常利益又は経常損失(△)	94,351	△344,704
特別利益		
固定資産売却益	※1 —	※1 147,674
その他	—	12,645
特別利益合計	—	160,319
特別損失		
固定資産除却損	※2 2,421	※2 5,353
創業120周年記念関連費用	44,722	50,116
その他	—	23,176
役員退職慰労金	62,270	—
過年度役員退職慰労引当金繰入額	31,265	—
特別退職金	22,788	—
物流移転費用	17,636	—
特別損失合計	181,104	78,646
税金等調整前当期純損失(△)	△86,753	△263,031
法人税、住民税及び事業税	74,010	59,309
法人税等調整額	△56,401	△1,606
法人税等合計	17,608	57,702
少数株主利益	10,055	13,444
当期純損失(△)	△114,416	△334,177

(3)【連結株主資本等変動計算書】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
前期末残高	960,000	960,000
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	960,000	960,000
<b>資本剰余金</b>		
前期末残高	541,520	491,045
当期変動額		
自己株式の消却	△50,475	—
当期変動額合計	△50,475	—
当期末残高	491,045	491,045
<b>利益剰余金</b>		
前期末残高	1,051,198	759,803
当期変動額		
剰余金の配当	△98,342	△95,085
当期純損失(△)	△114,416	△334,177
自己株式の処分	—	△38
自己株式の消却	△78,635	—
当期変動額合計	△291,394	△429,301
当期末残高	759,803	330,502
<b>自己株式</b>		
前期末残高	△182,528	△126,918
当期変動額		
自己株式の取得	△73,765	△20,927
自己株式の処分	265	287
自己株式の消却	129,110	—
当期変動額合計	55,609	△20,640
当期末残高	△126,918	△147,559
<b>株主資本合計</b>		
前期末残高	2,370,190	2,083,930
当期変動額		
剰余金の配当	△98,342	△95,085
当期純損失(△)	△114,416	△334,177
自己株式の取得	△73,765	△20,927
自己株式の処分	265	249
当期変動額合計	△286,260	△449,941
当期末残高	2,083,930	1,633,989

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	当連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	48,111	8,823
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△39,288	△1,389
当期変動額合計	△39,288	△1,389
当期末残高	8,823	7,434
評価・換算差額等合計		
前期末残高	48,111	8,823
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△39,288	△1,389
当期変動額合計	△39,288	△1,389
当期末残高	8,823	7,434
少数株主持分		
前期末残高	17,676	27,626
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	9,949	13,285
当期変動額合計	9,949	13,285
当期末残高	27,626	40,912
純資産合計		
前期末残高	2,435,979	2,120,380
当期変動額		
剰余金の配当	△98,342	△95,085
当期純損失(△)	△114,416	△334,177
自己株式の取得	△73,765	△20,927
自己株式の処分	265	249
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△29,338	11,896
当期変動額合計	△315,598	△438,045
当期末残高	2,120,380	1,682,335

(4)【連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失(△)	△86,753	△263,031
減価償却費	163,652	310,948
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△147,674
有形固定資産除却損	2,421	5,353
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△113	22,914
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,074	44,819
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	31,265	△2,080
受取利息及び受取配当金	△3,992	△3,626
支払利息	51,971	73,242
売上債権の増減額(△は増加)	△300,613	672,013
たな卸資産の増減額(△は増加)	43,749	△103,317
仕入債務の増減額(△は減少)	50,669	△148,078
その他の資産の増減額(△は増加)	280,480	157,603
その他の負債の増減額(△は減少)	△8,975	△290,876
小計	225,837	328,210
利息及び配当金の受取額	3,949	3,438
利息の支払額	△57,834	△77,774
法人税等の支払額	△183,265	△93,918
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11,312	159,956
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△100,000
定期預金の払戻による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△180,586	△126,754
有形固定資産の売却による収入	—	386,676
無形固定資産の取得による支出	△6,960	△1,326
投資有価証券の取得による支出	△3,484	△3,047
その他	△3,639	△16,415
投資活動によるキャッシュ・フロー	△194,671	239,133
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	436,000	△56,664
長期借入れによる収入	—	600,000
長期借入金の返済による支出	△508,414	△298,103
社債の発行による収入	295,925	—
社債の償還による支出	△300,000	—
リース債務の返済による支出	—	△140,639
自己株式の取得による支出	△73,765	△20,927
自己株式の処分による収入	265	249
配当金の支払額	△98,342	△95,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	△248,331	△11,170
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△454,315	387,918
現金及び現金同等物の期首残高	1,074,113	619,798
現金及び現金同等物の期末残高	619,798	1,007,716











































